

平素は弊社製品（次亜塩素酸除菌水 ALL-ZIA）をご使用いただきまして誠にありがとうございます。

独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）消毒手法タスクフォースより、新型コロナウイルスに対する消毒方法の有効性評価について最終報告がとりまとめられました。

<https://www.nite.go.jp/information/osirase20200626.html>

#### 【資料の概要】

今まで公表済みの結果に加え、新たに2種の界面活性剤、及び一定の濃度以上の次亜塩素酸水が、新型コロナウイルスの消毒に対して有効であることが確認されました。

1. 独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）は、経済産業省の要請を受け、新型コロナウイルスの感染拡大に対応し、家庭や職場におけるアルコール以外の消毒方法の選択肢を増やすため、上記検討委員会を4月に設置し、消毒方法の有効性評価を進めてきました。

2. 昨日6月25日、最終回となる第5回検討委員会を開催し、国立感染症研究所、学校法人北里研究所、国立大学法人帯広畜産大学、国立大学法人鳥取大学及び一般財団法人日本繊維製品品質技術センターと共同で進めていた新型コロナウイルスを用いた検証試験結果について審議を行い、最終的な報告をとりまとめました。結果の概要は、以下のとおりです。（赤字部分が、今回委員会で新たに判断された事項です。）

(1)界面活性剤は次の9種を有効と判断しました。

- ・直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム（0.1%以上）
- ・アルキルグリコシド（0.1%以上）
- ・アルキルアミンオキシド（0.05%以上）
- ・塩化ベンザルコニウム（0.05%以上）
- ・塩化ベンゼトニウム（0.05%以上）
- ・塩化ジアルキルジメチルアンモニウム（0.01%以上）
- ・ポリオキシエチレンアルキルエーテル（0.2%以上）
- ・純石けん分（脂肪酸カリウム（0.24%以上）
- ・純石けん分（脂肪酸ナトリウム（0.22%以上）

(2)次亜塩素酸水は、以下のものを有効と判断しました。

- ・次亜塩素酸水（電解型/非電解型）は有効塩素濃度 35ppm 以上
- ・ジクロロイソシアヌル酸ナトリウムは有効塩素濃度 100ppm 以上

なお、今回の検証結果を踏まえると、

次亜塩素酸水の利用に当たっては以下の注意が必要であることが確認されました。

- ①汚れ（有機物：手垢、油脂等）をあらかじめ除去すること
- ②対象物に対して十分な量を使用すること

【当社としての見解】

5月29日に、有効性評価の中間報告がなされましたが、発表内容が不明瞭で、一般消費者の皆様にも、多大な混乱とご心配を招かれたかと思えます。

今回の最終発表では、各種次亜塩素酸水に対して検証した結果、有効塩素濃度 35ppm 以上は新型コロナウイルス感染症に対して有効と判断されました。

また、空間噴霧については、現在調査中（経産省が「消毒液噴霧による人体への安全性については、確率された評価方法が存在していない」としている）ではありますが、噴霧器メーカー側が三重大学 大学院生物資源学研究科 福崎智司教授より所見を頂いており、安全性については問題ないと考えております。ただし、これはあくまで適正に管理された次亜塩素酸水を、正しく使用された場合に限りですので、用法・用量を守り、適正にご利用をお願いいたします。

弊社と致しましては上記の結果を踏まえ、引き続きお客様に安心・安全に「ALL-ZIA」をご使用いただけるよう努めてまいります。

2020年7月14日

株式会社シービー  
環境事業部

